21世紀も2年目の年（2002年）
ASAHIYAMA Zoo

発行所
動物資料展示館
旭川市
旭山動物園
☎ 36-1104

楽しみにしてね！ より自然なようすを観察できるよ!!

昨年の夏にオープンしたオランウータン舎につづいて、さる山（ニホンザル）以外のサルたちの放飼場も改築されました。

チンパンジーやワオキツネザル・その他のサルの仲間たちが休んでいる冬期間中に放飼場が改築されたのです。一足先にオープンになったオランウータンの空中運動場をうらやましそうに横目で見ていたサルたちも、四月からは新しく二倍くらい広くなった放飼場で楽しく遊びまわることでしょう。

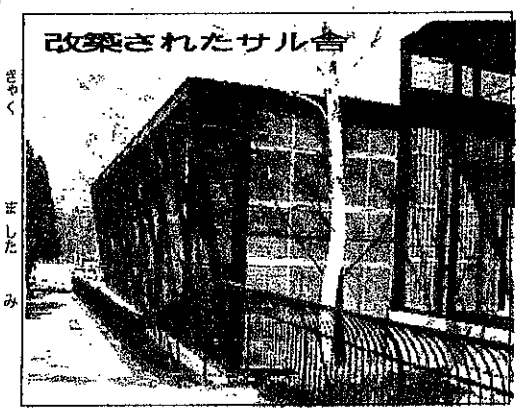
放飼場の前面は、お客さんの方にかぶさってくるように斜めになっていて、高いところに登ったサルもとても見やすく工夫されています。ただ広いだけでなく、きっとサルたちの遊び用具も変わっていると思います。↘

さる舎改築ニュース

日本さる以外のさる放飼場

↘ぜひ、見に来てください。

とても見やすく改築されました



↙お客さんが真下に見えるぞ！

・不思議発見・見つけてね！（No.④）

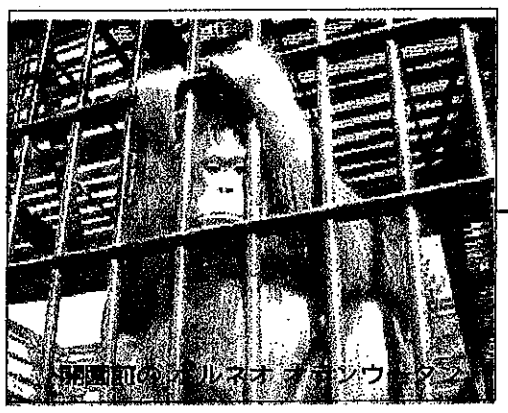
（飼育係の人を見つけて聞いてみよう!!）

オランウータン（サル目・ショウジョウ科）

「マレーシア語で、森の人（オラン＝人・ウータン＝森）と言う意味だそうです。」

生息地＝ボルネオの低地部のほぼ全域にいます。

食べ物＝ドリアン、ランブータン、パンノキ、ライチー、マンゴスチン、マンゴー、イチジクといった熱帯性の果実。その他若葉、新芽、昆虫、ミネラルを多く含んだ土、樹皮、太いつるなど、時には、鳥やリスなどの巣を襲って卵を採ったり小型の脊椎動物を捕らえることもあります。その他＝頭胴長はメスで78cm、オスは97cm。体重は、メスで40～50kg、オスは60～90kgあります。身長ではメスで115cmオスは137cmくらいです。


飼育員のボルネオオランウータン

・不思議発見・見つけてね！（No.3）

（飼育係の人を見つけて聞いてみよう!!）

チンパンジー（サル目・ショウジョウ科）

生息地＝アフリカ西南部から中央部のザイール川以北でセネガルからタンザニアに至る湿潤な森林や落葉樹が生えている疎開林・いろいろな植生を含むサバンナ。

食べ物＝主によく熟れた果実で不足分を樹木の種子でうめあわせ、そのほか花、やわらかい髄、虫こぶ、樹脂、樹皮、など、若葉も食べます。

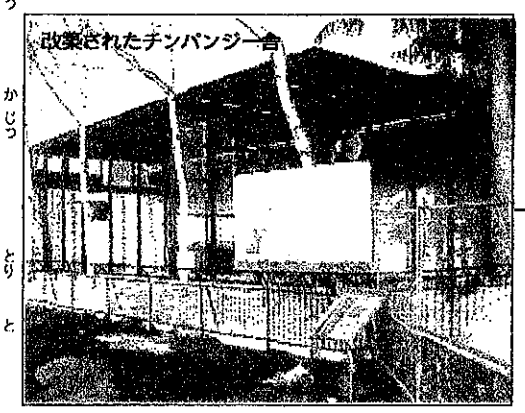
チンパンジーは一日に20種、一年では300種にもなるほどの植物を利用しているのです。

また、動物性のものではハチ、アリの類が最も多く、鳥を捕らえるのはごくまれで、時には、哺乳類のサルやヤブイノシシのなどの子どもを捕らえて食べることもあります。

その他＝頭胴長は、メスで70～85cm、オスは77～92cmです。尾はありません。体重は、野生の状態でメスで30kg、オスは40kgという記録が残されています。

動物園の飼育下では、メスで80kg、オスは90kgという記録もあるそうです。

いろいろな面で私たち人間とよく似ているチンパンジーですね！。知りたいことは、気軽に飼育係の人にたくさん聞いて見てください。飼育係の人たちは喜んで教えてくれますよ！。


改築されたチンパンジー舎

動物園にいるサル目の仲間たち

旭山動物園には、さる山にいるニホンザルを始め、上記に紹介したオランウータン・チンパンジーの他に、たくさんのサル目の仲間がいますので左に名まえと数を紹介します。

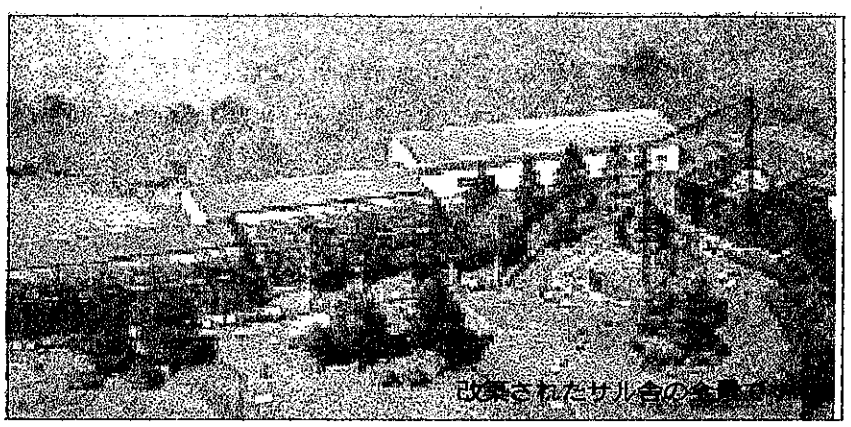
シロテテナガザル・・・・4頭（サル目・テナガザル科）

アビシニアコロブス・・・4頭（サル目・オナガザル科）

ブラッザグェノン・・・・5頭（サル目・オナガザル科）

ジェフロイクモザル・・・2頭（サル目・オマキザル科）

ワオキツネザル・・・・・3頭（サル目・キツネザル科）


改築されたサル舎の全景